

愛知工業大学公的研究費不正使用防止計画

区分	不正使用の内容	不正発生要因の例示		本学の措置計画
		研究者	研究機関	
物品購入	<ul style="list-style-type: none"> ・預け金（架空発注、納品検収後の返品等） ・請求書、納品書の偽装 ・研究課題と関連性の無い物品購入 ・必要以上の在庫発注（消耗品等のストック購入） ・予算消化のための物品購入（年度末の大量購入及び高額機器の購入等） 	<ul style="list-style-type: none"> ・期間内に研究費が執行できない ・物品がすぐ必要である ・他の研究予算が無い ・自由に使いたい（個人または研究室） ・物品購入の手続きが面倒 ・研究者関係者による発注及び納品検収 ・ルール遵守の意識低下 	<ul style="list-style-type: none"> ・規程が過度に厳格化している ・決裁手続が複雑である ・書類決裁に時間が掛かる ・納品の検収体制が未整備 ・物品調達を研究者任せにしている 	<ul style="list-style-type: none"> ・予算執行における取り扱いの制定および周知 ・予算状況の把握と差引管理 ・研究費執行の実態調査 ・購買課による発注の徹底 ・購買課以外の事務職員による納品検収の徹底 ・検収印の無い物品の請求書の支払は行わない ・特注品等の発注における取り扱い（業者選定理由書の提出） ・備品監査の実施（科研費内部監査の特別監査を含む） ・取引先業者への未払金・預け金等の実態調査および誓約書の徴収 ・教職員（構成員）から誓約書の徴収
旅費・交通費	<ul style="list-style-type: none"> ・カラ出張 ・旅行日程の水増し ・請求書水増し ・研究課題と関連性の無い出張 ・予算消化のための出張（年度末に出張が集中等） 	<ul style="list-style-type: none"> ・期間内に研究費が執行できない ・他の研究予算が無い ・院生等の旅費を捻出したい ・自由に使いたい（個人または研究室） ・ルール遵守の意識低下 	<ul style="list-style-type: none"> ・出張内容を確認していない ・出張報告の提出が徹底されていない ・出張の事実確認がされていない ・根拠資料が多い ・旅費の支給が遅い 	<ul style="list-style-type: none"> ・出張先の写真等記録の提出 ・宿泊証明等の提出 ・会議等要項の提出 ・パスポートの出入国がわかる頁（写）の提出 ・航空券の半券（往復）の提出 ・教職員（構成員）から誓約書の徴収
謝金・アルバイト	<ul style="list-style-type: none"> ・カラ雇用（アルバイト等の出勤簿改ざん） ・カラ謝金 ・プール金 	<ul style="list-style-type: none"> ・期間内に研究費が執行できない ・他の研究予算が無い ・院生等の旅費を捻出したい ・自由に使いたい（個人または研究室） ・ルール遵守の意識低下 	<ul style="list-style-type: none"> ・アルバイト等の必要性の確認不足 ・勤務実態を把握していない ・研究室の透明性がない 	<ul style="list-style-type: none"> ・伺書の起案とアルバイト調査票等の提出 ・雇用契約書等の取り交わし ・コンプライアンス推進副責任者によるアルバイト雇用者との面談 ・コンプライアンス推進副責任者による定期的な勤務状況確認（学内） ・ICカードによる勤怠管理 ・勤務報告書の提出 ・教職員（構成員）から誓約書の徴収
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・誤った研究費の執行 ・私的流用 	<ul style="list-style-type: none"> ・研究遂行の最優先化によるモラルの低下 ・ルール遵守の意識低下 ・使用ルールの理解不足 ・予算執行状況を把握していない 	<ul style="list-style-type: none"> ・不正使用の抑止機能が未整備 ・研究費執行に関する相談先が不明瞭 ・内部告発に関する規程等の未整備 ・監査体制の未整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート調査等の実施による運用実態の把握 ・実態に即した諸規程等の見直し ・リーフレット「STOP!!研究費不正使用」の作成 ・使用ルールのマニュアル化 ・（「愛知工業大学ひとりあるき」「科研費ハンドブック」の作成） ・FAQの作成と周知 ・使用ルールの相談窓口の設置 ・研修会・説明会等コンプライアンス教育の実施 ・学内調査等の分析結果を説明会等にフィードバック ・愛知工業大学における研究費等の不正使用に関する取扱規程の制定 ・監査手法の検討 ・告発窓口の設置 ・規程による告発者の保護 ・教職員（構成員）から誓約書の徴収